

耐震化率の算出方法

文部科学省(日本私立学校振興・共済事業団)の「私立学校校舎等実態調査」に基づき算出

(分子)	①または②に該当する建物の延床面積の合計	24,133
	①新耐震基準建物 新築年月日が 昭和56年(1981年)7月1日以降の建物	
	②旧耐震基準建物 新築年月日が 昭和56年(1981年)6月30日以前の建物	
	のうち、耐震診断を実施済で、耐震性能を有している あるいは耐震補強済の建物	
(分母)	施設の延床面積合計(分子)①または②に該当する建物の延床面積の合計	30,727
	<u>R6.4.1現在</u>	<u>78.5%</u>

旧耐震基準で建築された建物の耐震診断実施率 H30.3.1完了 100.0%

H30年度より耐震化(改築)工事を行っており、全て文部科学省 国庫補助金に採択されています。

平成30年度及び平成31(令和元)年度

私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費(防災機能等強化緊急特別推進事業(学校施設耐震改築工事))

美作大学・美作大学短期大学部女子寮新築工事

楓寮(大学学生寮)の改築工事 H30年度～H31年度(R元年度)

H31年度(R元年度)8月に新白梅寮が学内に完成し、学生引っ越し後に楓寮(大学学生寮)を取り壊しました。

白梅寮(短大学生寮)から学生が引っ越ししました。

令和2年度及び令和3年度

私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費(防災機能等強化緊急特別推進事業(学校施設耐震改築工事))

新棟(大学・短大)の改築工事 R2年度～R3年度

R2年12月に新棟を改築工事を行い、R3年12月末に完成、R4年4月より運用開始しています。

R3年3月 7号館(旧図書館)を取り壊しました。

令和4年度及び令和5年度

私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費(防災機能等強化緊急特別推進事業(学校施設耐震改築工事))

美作大学・美作大学短期大学部 1号館耐震改修工事

R4年度 1号館西側(出来高50%)の改修工事を行いました。

R5年度 1号館東側(出来高50%)の改修工事を行い1号館全体の耐震改修工事を完了しました。

キャンパス内施設については、キャンパスガイドページをご参照下さい。

今後の耐震化計画について(R6.4月現在)

令和6年度以降の予定

(旧)6号館

当初、2号館耐震改修工事期間中の一時待避先として使用し、改修後に取り壊す予定としておりましたが、令和6年度から、1号館への引っ越し完了後に立ち入り禁止とします。

令和6年度

R6.9月末、(旧)6号館使用中止に伴い

(分子)	①または②に該当する建物の延床面積の合計	24,133
	①新耐震基準建物 新築年月日が 昭和56年(1981年)7月1日以降の建物	
	②旧耐震基準建物 新築年月日が 昭和56年(1981年)6月30日以前の建物	
	のうち、耐震診断を実施済で、耐震性能を有している あるいは耐震補強済の建物	
(分母)	施設の延床面積合計(分子)①または②に該当する建物の延床面積の合計	26,882
	<u>R6.9.30</u>	<u>89.8%</u>

令和7年度

2号館

令和6年度～令和7年度中に、2号館耐震改修工事を行う予定としておりましたが、短大の廃止にあわせ令和7年度末に立ち入り禁止にする予定です。

R8.3月末、2号館使用中止に伴い

(分子)	①または②に該当する建物の延床面積の合計	24,133
	①新耐震基準建物 新築年月日が 昭和56年(1981年)7月1日以降の建物	
	②旧耐震基準建物 新築年月日が 昭和56年(1981年)6月30日以前の建物	
	のうち、耐震診断を実施済で、耐震性能を有している あるいは耐震補強済の建物	
(分母)	施設の延床面積合計(分子)①または②に該当する建物の延床面積の合計	24,133
	<u>R8.4.1</u>	<u>100.0%</u>